

補習校だより

2019年11月26日発行

先日の大雪の後から一気に寒さが増しました。山脈は一面雪に覆われています。今年は初雪が早かったものの、アーザル月はイランの晩秋の月です。月末の冬至祭「シャベヤルダー」を終えると冬がやって来ます。一年のうち夜が一番長いこの日に太陽の象徴であるザクロやスイカを食べ、占いや昔話を語りながら家族で過ごし、次の日から春に向けて日一日と日照時間が増すことを祝う日なのです。



🎲 今月(アーザル月)の予定

	イラン暦	西 暦	
第 9 回目授業	1398/9/7 パンジシャンベ	2019/11/28(木)	通常授業
第 10 回目授業	9/14 パンジシャンベ	12/5(木)	短縮授業 公開授業とバザー
第 11 回目授業	9/21 パンジシャンベ	12/12(木)	通常授業
第 12 回目授業	9/28 パンジシャンベ	12/19(木)	通常授業

※始業時間が 10 時に早まりました。終業時間は今まで通り 12 時半です。

🎲 行事報告 職業体験談

11 月 14 日の補習校で、宮本洋子さんによる『職業体験談』を聞きました。警察官になったきっかけ、警視庁の採用試験、警察学校ではどんなことを学ぶのか、そして配属された警察署で行う仕事についてお話して下さりました。普段テレビドラマなどで見ることはあっても本当の警察官の話を聞く機会はないので、みな大変興味深く聞き入っていました。



「みんなの安全を守る仕事をしている警察官は『お疲れ様です。』と一声をかけてもらえると、やる気が出てがんばれるので、見かけたら是非声をかけてみて下さい」という言葉に警察官の正義感を垣間見た気がしました。

貴重な経験をお話して下さった宮本さんに感謝いたします。

日本人学校・日本語補習校交流授業



11月21日(木)にテヘラン日本人学校で、日本人学校と補習校との交流授業が行われました。日本人学校の先生方による国語の授業を両校の児童生徒が一緒に受けた後、レクリエーション活動としてドッジビー(フリスビー版ドッジボール)を行い、最後に本校鈴木理恵さんによるイランの学校や習慣についての話を聞きました。

日本人学校と本校は数年前より交流しており、新しく増えたメンバーもありますが以前にも一緒に勉強した仲間もいます。皆様に暖かく迎えていただく中、補習校生も授業やレクリエーション活動をより楽しむことができました。日本人学校の授業を体験したり、参観することで日本語の理解が深まり、補習校保護者も授業の流れや工夫を知ることができました。我々からもイランの習慣などを紹介する中で、「イランと日本の架け橋となる」ことの意義を再認識する機会になりました。その後の教員意見交換会で「イランで日本語を勉強している補習校生は、日本から来た人にとって頼もしい存在になる」という励みになる言葉をかけていただきました。



今年もたいへん貴重な体験をさせていただき、心より感謝いたします。

※都合により行事の感想文は来月号に掲載いたします。

作文紹介

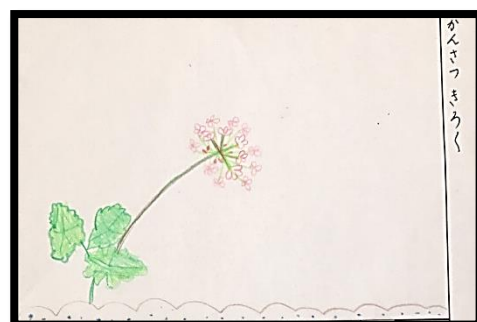
☆二、四年生クラス

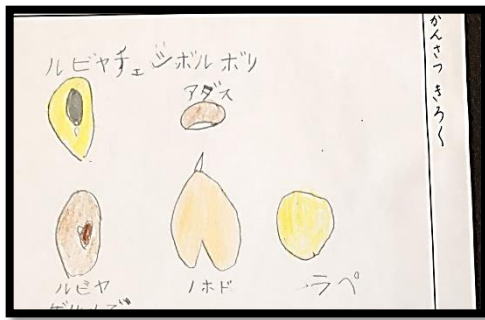
二年教科書『かんさつ名人になろう』より観察記録をつけました。

「ベランダのゼラニウム」 みやちもな

うえかえて一週間目のゼラニウムをかんさつしました。

今日はさむかったけれど、ベランダでかわいい花がさっていました。はっぱにいっぱい毛がはえていて、みかんのつよいにおいがしました。かわいかったです。十三こ花





があつてびつくりしました。さむもびつくりしていたとおもいます。ママはわらっていました。みんなかわいいとおもいました。

「めが出た」 すずきゆうと
十月三十日 晴れのち雨
四日前に水につけていたまめのめが出ていました。
めがでたのは、四しゆるいです。
ラペだけめがでませんでした。

四年生『いろいろな意味を持つ言葉』を読んで詩を作りました。



「かける」 青山愛沙

スッススス アイロンをかける
プルプルル 電話をかける
タッタッタ かけるくんがかける
ピキピキキ おちやわんがかける
ぐるんぐるん 橋をかける
パッパッパ しおをかける
ピッピッピ 2と3をかける

☆5, 6年生クラス

6年生教科書『生き物はつながりの中に』から感想文です。

「生き物はつながりの中にを読んで」 かとうルミナ

この話は本物のイヌとロボットのイヌを比べた内容です。

わたしから見て、どんなに最新型のロボット技術でも、本物で生きているものには、勝てないと思います。

それは本物の生き物には感情も五感もあり、それぞれ違いますが、それは生き物の個性で、すごいと思います。

しかし、ロボットは組まれたプログラムで、ある生き物と同じ動作は出来るかもしれないが、どのロボットでも、組まれたプログラムの内容しか動く事が出来ないからです。

編集後記

西暦では年末が近づいています。私はキリスト教徒ではないですが、クリスマスの華やかさと暖かさには憧れてしまいます。「シャベヤルダー」もちょうどクリスマスの頃ですが、イランに長く住んでみて「シャベヤルダー」の考え方も実は素敵だと近頃は思います。普段はいろいろありますが、大切な家族と一緒に過ごす、冬至の寒い暗闇の中に太陽を感じとり春に向けての希望を見出す、そんな精神的な暖かさを感じます。最近急にガソリン価格が跳ね上がり世知辛く思いますが、そんな時だからこそ大切にしたいイランの伝統行事ではないでしょうか。

今月は補習校公開授業とバザーが控えています。皆様のご協力のもと、補習校らしい盛り上がりを見せられればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。